

# 平成29年度 上田市立清明小学校 学校関係者評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)	総合評価					
「清く明るく 豊かな心で 進んで学ぶ 子どもの 育成」  ・心も体もたくましい 子ども ・友だちに親切にできる 子ども ・しっかり学習できる 子ども	①自主:豊かなかかわりやさまざまな体験を通して、自分で気づき、よく考えて自らたくましく行動できる子ども ②豊かさ:お互いに認め合う中で自分に自信を持ち、友とのかかわり合いを大切に、共に学習や生活を楽しむことができる子ども ③学び:自ら見つけた課題を、友と考えをつなぎからめ合いながら追究し、学びの楽しさや高まりを実感できる子ども						
	今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
	1 高みを目指し、自ら粘り強く取り組む子どもを育みます(自主)						
	2 挨拶を響き合わせ、自他を大切に思いやりのある子どもを育みます(豊かさ)						
3 友とともに学ぶ楽しさを実感できる子どもを育みます(学び)							

	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
重点目標	1 自主	「ふるさと学習」の推進	「ふるさと学習」を通して、探究する楽しさを体験させながら、粘り強く追究する意識を育て、やり遂げた成果に自信を持たせたか。						
		朝マラソンの取り組み	朝マラソンの積極的な取り組みを認め、やる気が喚起されるよう評価したか。						
		成功経験の累積	困難にぶつかったとき、仲間とともに解決していかれる適切な支援を繰り返しながら、乗り越える成功経験を積ませたか。						
	2 豊かさ	挨拶の充実	日常的な声かけや、児童会活動の充実により、挨拶の良さを自覚させながら、実践と評価を繰り返し、積極的に挨拶が飛び交う学校を目指したか。						
		人権同和教育の日常化	一人一人を大切に、違いを認め合い、共に学びあうよさが実感できる人権同和教育を日常化したか。						
		思いやりの心の育成	児童を肯定的に捉え、温かい言動で接しながら、思いやりの心が全体に広がるよう取り組めたか。						
		研修を生かした実践	特別支援教育の研修や、児童理解の研修を全職員で積み重ね、研修を生かした実践に取り組めたか。						
	3 学び	学習習慣の形成	腰骨を立て、目・耳・心で話を聴きあう、学習習慣と姿勢づくりをさらに進めたか。						
		学習課題の共有	学習課題を共有し、課題解決に向けて、友の考えを聴き自分の考えが伝わるように話す場面を授業の中に設定したか。						
		話し合い活動の充実	ペア学習や小グループによるテーマ追究の話し合い活動を設け、共に学ぶ楽しさに触れさせながら、ともに考えを練り上げ、高める力を育むことを通して、学力向上に努めたか。						

○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった